

大会運営全般に関わる基本方針（案）

1、実施要項について

- ・大会日時 令和4年6月23日(木)・24日(金)の2日間 札幌市教育文化会館
第1日目 10:30 開演 日本音楽 → 器楽・管弦楽 → 吹奏楽
第2日目 10:00 開演 吹奏楽 → 合唱
両日とも終了時間は19:00を目処とする。
休憩時間・入れ替え時間の確保に心掛ける
- ・要項（案） 会場のガイドラインに則り、昨年度（第67回）を踏襲した形で行う。
出場人数56名、無観客で実施する。
但し、**感染状況**しだいで**出場人数及び観客の有無の変更もある（変更・実施方法については4月下旬までに決定）**。

【説明】

令和3年度11月に行った第3回専門委員会において、「令和4年度は通常
の開催を目指す」事に決まり、その方向で準備を進めていました。しかし、
1月の急激なコロナ感染拡大により、現状では「大会を安心・安全に開催す
る」ことを目標に、昨年度を踏襲する形で実施要項(案)を提示せざるを得な
いと当番校・専門委員会で判断しました。（出場人数56名、無観客の根拠は
昨年提示した通り）

ただし、今後の感染状況次第で、出場人数および観客の有無の変更もあり、
変更・実施方法について4月下旬目処に決定したいと考えています。

様々なご意見があると思いますが、安全な大会の実施を目指し、ご協力をお
願いします。

- ・講 評 合唱3名、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽3名の講師を招聘する。
講師の招聘は委員の総意を汲み専門委員会で決定、専門部長が委嘱する。
講評用紙は演奏終了後本部に取りに来る。
（コピーをした上で、点数表部分を切り取った直筆講評を各校に渡す）
講評は大会終了後冊子にまとめ、参加団体に配布する。
- ・入場料 無観客のため、なし
ただし、有観客に変更になった場合、第2回研究協議会（5月中旬予定）で
補正予算案を提示する。
- ・参加料 15000円とする。

【説明】

今まで本大会は、教育文化会館との共催で行い、会場費等は無料でした。

令和5年度に教育文化会館の全面改修工事のため、カナモトホールでの開催
を予定しています。カナモトホールの物件使用料として約90万円必要とされ
るため、「専門部長会計」として令和2年度の交付金(大会中止)、令和3年度
の積立金などで準備をしていたところです。

しかし、先日、改修工事期間が令和6年10月までと判明し、専門委員会で試算をしました。予算案からもわかるように、積立金による会場費補助、次年度当番校運転資金では到底賄えません。よって、令和4年度から3カ年に限り、5000円増額の15000円で提案します。ただし、試算では参加団体の想定数を80団体としているため、令和4年度の参加団体が想定数よりも大幅に下回る、また、その他の感染対策の経費などが予算よりも上回る場合は、令和5年、6年の参加費を更に増額する可能性があることをご理解、ご承知いただきたいと思っております。

(内訳) 10000円は今まで通り当該年度の大会運営資金として
5000円は積立金として「専門部長会計」へ繰入

- ・プログラム 印刷・配布をやめ、当番校HPよりダウンロードする。
- ・合同演奏 新型コロナウイルス感染症感染防止のため、今年度は合同合唱、合同吹奏楽ともに中止とする。
合同のみ参加する団体が毎年あるが、昨今の社会情勢からご理解いただきたい。
- ・運営 当番校、次期当番校の職員・生徒及び前年度当番校生徒を基本とし、参加団体顧問による実行委員会を組み、大会当日は主体的に動くものとする。
小ホールのピアノを使用できるようにする。リハーサル室Bに電子ピアノの設置（借用代金は予算より支出する）
- ・参加申込 昨年に引き続きメールでの申し込みとする。

2. 予算・謝金その他について

- ・予算 前回当番高校の考え方を基本的に踏襲する。
収入は、交付金・参加料・入場料・繰越金・(積立金)
支出は、事業費・会議費・印刷費・通信費・旅費・事務費・食料費・予備費・積立金

訂正

3. 予想される出演団体数（過去3年の実績に基づく）

日本音楽	2	(R3 0)
器楽	3 → 4	(3)
管弦楽	3	(4)
吹奏楽	5-6 → 5	3 (4 1)
合唱	2-4 → 2	3 (1 3)